MADE IN CHINA

パタゴニア製品の製造場所とその理由

ここではパタゴニアが製品を製造する場所とその理由についてお客様からいただく質問についてお答えします。これは複雑な主題ですが、私たちの見解をできるだけ示すことができれば幸いです。

パタゴニアは自社の農場／繊維工場／製造工場を所有しません

多くの衣料品メーカーと同じように、パタゴニアは自社の農場／繊維工場／製造工場をもっていません。けれども、私たちの名のもとに行われていることに目を留めていないわけではありません。私たちはパタゴニアの製品を作るすべての労働者とパタゴニアのラベルが貼られた製品を成すすべての要素に責任があります。私たちのサプライチェーンで他の人のために働く人たちに何を請け負うべきか、私たちは長いあいだ問いつづけてきました。テクニカルウェアにはもちろん、カジュアルなスポーツウェアにも確固とした高い縫製水準を適用しています。品質要件を満たすためにパタゴニアの生産部門スタッフがつねに引き寄せらたのは、経験を積んだ縫製オペレーターを雇用する清潔で十分な明るさを確保した工場です。価格や条件についても工場と交渉してきましたが、最低コストの労働を追求したことはありませんでした。

クオリティが調達決定の際の第1基準

工場を選択する際の第1の基準はクオリティです。コストはその一部です。つまり、パタゴニアが要求するレベルのクオリティと特定のパフォーマンス特性を満たす工場が2つある場合、より低価格を実現するための源泉が信頼できると判断すれば、低価格のサプライヤーを選ぶかもしれないということです。これは繊維の選択から縫製までのすべての調達上の決定にいえることです。第2の基準は重要で、環境への影響をより削減できるかどうかという点です。クオリティを犠牲にすることなく環境への影響を削減できるのであれば、私たちはそうします。これによって価格が犠牲になる場合は、ケースバイケースですが、売上を犠牲にして環境を重視する決定も頻繁に行います。

労働者の公正な待遇

私たちはパタゴニア製品を製造する労働者を公正に待遇する工場と取引することを公約し、それを確実にするために多くのことを実践しています。そのために社内に職場行動規範とそれに対応するベンチマーク書類をガイドラインとして職務にあたるソーシャル／エンバイロメンタル・レスポンシビリティー担当のスタッフを置き、公正労働協会と国際労働機関の会員、ソーシャル・コンプライアンスの工場監査などもしています。詳細はこちらをご覧ください。これらの献身によってアジアまたはその他で製造する製品のコストを上げることになることもありますが、パタゴニアはそのための時間と費用を惜しみません。

資格要件を満たすアメリカの工場は希少

創業初期のころ、パタゴニアは少なくとも半分の製品を米国外で調達していました。しかしアメリカのテキスタイル産業や国内の優秀な縫製工場が減っていくのにしたがって、アメリカで作る製品の比率も年を追うごとに減ってきました。アメリカのアパレル製造業の多くはもはや存在していません。シアトルの契約工場Cascade、J&E、Down Productsは廃業し、ユタ州のPyke Manufacutringは1994年に倒産、ペンシルバニア州のTennessee ApparelとEverite、サンフランシスコのLinda Apparelも扉を閉めました。アパレル会社にとって、米国でその水準を満たす工場を見つけるのはとても困難です。テキスタイル産業は縮小し、仕事は海外へと渡ってしまいました。

アメリカにおけるテキスタイル産業が縮小したおもな原因は、NAFTA（北米自由貿易協定）、CAFTA（中央アメリカ自由貿易連合）、ATPA（アンデス諸国関税優遇法）、IFTA（イスラエルからの非課税貿易）などの貿易協定です。これらの貿易協定は1994年以来、米国を拠点とするテキスタイルや縫製業界の劇的な後退に直接関係してきました。パタゴニアはNAFTAに反対し、ニューヨーク・タイムス紙をはじめとする国内の他の新聞に広告を掲載しました。NAFTAが環境水準の劣化を引き起こし、アメリカの労働者が職を失うことを懸念したためです。

私たちはアメリカを拠点とする高品質の工場をつねに探していますが、経験から言えば、その選択肢はとても限られています。貿易政策は繊維／縫製工場を国外に追いやり、パタゴニアが必要とする生産量を満たすことは国内の工場にとってむずかしいのです。また、毎シーズン何万枚もの製品、そしてその多くがとても複雑な製品、を縫製するのに必要な労働者数を見つけるのも非常に困難です。私たちは見つけた工場を継続して育み、またアメリカにおける原材料の生産量を増やすためのいくつかのオプションも模索中です。

 | ©2013 Patagonia, Inc

中国における製造

私たちは世界各地で製品を製造しており、そのなかのひとつ中国は、あらゆる種類の不備について然るべく、また手厳しく批判されています。これは中国に限ったことではありません。環境保護と労働者の権利について水準以下あるいは不安定な実績をもった国もあります。アメリカでの実績はそれよりはましですが、ヨーロッパや日本に比べると劣ります。その国から撤退するかどうかのパタゴニアの判断は政策に基づいてはいません。私たちは賢明な工場を選び、またそうした工場と建設的に関与することによって、変革を促すことができると信じています。

パタゴニア製品を作るための契約をしている43工場のうち、13工場が中国、9工場がアメリカにあります（全契約工場のリストはこちらからご覧いただけます）。中国の工場が作る製品はアメリカの工場のそれよりもはるかに多量です。そうはいっても、私たちはできるだけアメリカの工場と仕事をしています。ロサンゼルスではさまざまなサプライヤーと取引をつづけ、テキサスとノースカロライナにも長期的な関係をもつ工場があります。テキサスで取引している工場は身体障害者を雇用しており、それは彼らと仕事をする理由のひとつとなっています。パタゴニアの新しいフィッシング用クランポンは、カリフォルニア州ベンチュラ本社に近い場所で製造されています。アメリカのサプライヤーを見つければ、取引の可能性を探ります。

製品の輸送と環境

今日、パタゴニアの売上の約半分はアメリカ以外の国に拠るものであるため、もしもここアメリカで製造することが可能であったとしても、輸送距離を減らすことによる環境面での利点には必ずしもつながりません。しかし地域主義、つまり製品が買われる場所に近いところ、例えば日本やヨーロッパあるいはパタゴニア製品の市場が伸びているアジアの国で製造することは、強力かつ長期的な環境面での利点であると考えます。その利点を軽減している2つの短期的な要素は、膨大な変更が必要となる点と、パタゴニア製品によるカーボン・フットプリントのうち輸送が占める比率はわずか2％以下であるという意外な数字にあります。